

悔しさをバネに前進あるのみ！

「抵抗とヒューマニズム」で茨の道を切り拓こう！

2016年7月10日投開票の第24回参議院選挙は、憲法改正の発議に必要な議席の3分の2を自・公をはじめとする改憲勢力が占め、戦後初めて衆・参両院で憲法改正ができる体制が整った。私たちは騙されない！争点を「経済政策」へと逸らし、安保法制や労働諸法制の改悪を目論む安倍政権の本質を見抜き、この危機的状況を打ち破る仲間を広範につくり出していく。

この間JR東労組は、たしろかおる参議院議員と共に、平和・人権・民主主義を守るために、「たしろかおる参議院議員を応援するプロジェクト」を立ち上げ、組合員・家族・OB・そしてJR東日本労連の仲間とたたかいをつくり出してきた。職場では妥協のない全組合員との総対話行動、期日前投票の貫徹などやるべき事をすべてやり切り、勝利に向けて選挙戦をたたかい抜いてきた。しかし、たしろかおる参議院議員を国政へ送る職場からの奮闘はあと一步及ばず惜敗に終わった。

私たちは、この痛苦的現実を極めて悔しい立場で受け止めている。多くの市民・労働者が安倍政権によって暗黒の時代へと引き込まれようとしている。しかし私たちは、この選挙戦で培った組織力をバネに、市民・労働者の生活を守るため、新たなたたかいに決起しなければならない。どんなに厳しく辛いたたたかいも組合員と共にたたかいをつくり出し、組織を強化してこの厳しい現状を突破しようではないか！

職場では構造的な要員問題や、鉄道の安全を脅かし、輸送・サービス品質の低下を招く事象が多発しているが、立ち止まる訳にはいかない。いまこそ、たしろかおる参議院議員と共に作り出した6年間の成果を確認し、職場の隅々からたたかいを巻き起こしていくものである。

JR東労組中央本部は、さらに安全で働きがいの持てる職場、そして子どもたちが安心して暮らせる社会を創り出すために、たしろかおるとともにたたかう！そしてこれからも組合員と共に社会の不正義や不条理に対して「抵抗とヒューマニズム」を基底に据えて立ち向かう！職場の組合員とたしろかおると共に奮闘して激動の時代を切り拓いていこう！

2016年7月11日

東日本旅客鉄道労働組合  
中央執行委員会